

高等学校 令和7年度

教科 芸術

科目 音楽Ⅰ

教 科： 芸術

科 目： 音楽Ⅰ

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ E 組

教科担当者：（A組： ） （B組： ） （C組： ） （D組： ） （E組： ）

使用教科書：（ Mousai ）

使用教材： （ 高校生のための音楽研究ノート ）

教科 芸術

の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	歌唱 【知識及び技能】 ・正確な音程、リズム、テンポで 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な発語や表現の工夫 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・意欲的に発声する	・指導事項 独唱 合唱 ・教材 たばさをください 小さな空 春に	【知識・技能】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解している。曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使用の技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚して、その働きを感じて、知覚したことと感受したこととの間わりについて考える。	○	○	○	18
	器楽 【知識及び技能】 ・正しい奏法の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現の工夫 【学びに向かう力、人間性等】 ・生徒相互の批評	・指導事項 鍵盤楽器 ボディパーカッション ・教材 chopsticks カントリーロード プリマスロック	【知識・技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解するとともに、創意工夫を生かした器楽表現をするために、曲にふさわしい奏法、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 器楽表現に関わる知識・技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって表現する。	○	○	○	8
2 学 期	歌唱 【知識及び技能】 ・正しい様式の理解 ・箏語の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現の工夫 【学びに向かう力、人間性等】 ・生徒相互の批評	・指導事項 イタリア歌曲 ・教材 O sole mio Caro mio ben	【知識・技能】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解している。曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使用の技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚して、その働きを感じて、知覚したことと感受したこととの間わりについて考える。	○	○	○	14
	器楽 【知識及び技能】 ・正しい奏法の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現の工夫 【学びに向かう力、人間性等】 ・生徒相互の批評 創作 【知識及び技能】	・指導事項 ギター・創作 ・教材 Happy birthday to you マリーゴールド サウンドロゴ	【知識・技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解するとともに、創意工夫を生かした器楽表現をするために、曲にふさわしい奏法、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 器楽表現に関わる知識・技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって表現する。	○	○	○	14
3 学 期	器楽 【知識及び技能】 ・さまざまな技法の理解 ・箏語の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現の工夫 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習した技法を豊かに盛り込んだ創	・指導事項 箏（創作） ・教材 さくらさくら	【知識・技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解するとともに、創意工夫を生かした器楽表現をするために、曲にふさわしい奏法、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 器楽表現に関わる知識・技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって表現する。	○	○	○	8
	鑑賞 【知識及び技能】 ・歴史的背景の理解 ・作品の様式の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・技法、様式を聴取できる 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品のよさを聴きと	・指導事項 西洋芸術音楽 日本音楽 ・教材 カルメン 交響曲第9番 op. 125 第4楽章 ピアノの変遷 雅楽	【知識・技能】 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。 【思考・判断・表現】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりや、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解する。	○	○	○	8
							合計

70